

SEKONIC
DIGI LITE F



株式会社

セコニック

(本社・営業部)

東京都練馬区大泉学園町7-24-14
〒178 ☎03(978)2330

(大阪営業所)

大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル
〒541 ☎06(263)1571

(名古屋営業所)

名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル
〒460 ☎052(25)4201

(東京サービスセンター)

東京都新宿区市ヶ谷田町3-8 新幹ビル
〒162 ☎03(269)7243

SEKONIC
DIGI LITE F

L-328 使用説明書



お買い上げありがとうございます。使用前にこの説明書を必ずお読みいただき
このL-328の性能を十分にご活用ください。

目次

	頁
1 各部の名称	3
2 液晶表示部	4
3 モードの選定と操作一覧	5
付属品と測定の方法	6~9
受光部アタッチメントの取り付け方	6
入射光式測定	6
4 ① 光球を用いて	6
② 白色平板を用いて	7
反射光式測定	8
① 光角度板を用いて	8
② ビューファインダー5'	8~9
○シンクロコード ○標準反射板	9
準備及び測定	10~20
準備	10~13
① 電池を入れます	10~11
② 測定モードを決めます	11~12
③ フィルム感度(ISO)を合わせます	12~13
④ タイム(T)を合わせます	13
測定	14~20
① ストロボ光・コードレス測定	14~15
② ストロボ光・シンクロコード接続測定	16~17
フラッシュバルブの測定	17
③ 定常光の測定	18~19
ムービーカメラの場合の測定	19
照度(ルクス)の測定	19~20
6 取り扱い上の注意	20
7 アフターサービスについて	21
8 仕様	22



DIGILITE F

1 各部の名称



①光球 (白色平板、光角度板と交換できます)

②受光部ヘッド (270°回転します)

③液晶表示部 (右図参照)

④測光スイッチ

⑤電源スイッチ (L:ON T:OFF)

⑥アップダウンスイッチ

⑦モード切替スイッチ

⑧ISOキー

⑨F/EVキー

⑩シンクロターミナル

F/EVキーの操作によりF又はEVが表示されます



⑪電池ふた

⑫ストラップ掛け

⑬白色平板

⑭光角度板

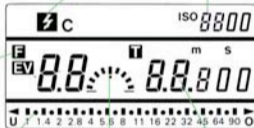
2 液晶表示

- ①電源スイッチをONしたときb、cの文字が表示されます
- ②測定F値の整数項が表示されます
定常光(1.0-90)
ストロボ光(1.4-90)
- ③測定EV値の整数項表示(-6-25)
- ④E.m、E.oのエラー表示がされます。

モード表示

- ①**F**コードレス測定
- ②**C**コード接続測定
- ③Cムービーコマ数が表示されます

ISOキーとアップダウンスイッチの操作によりフィルム感度が表示されます (ISO3-8000)



測定F値のデジタル部がドットで表示されます

①電源スイッチONにしたとき電池容量の表示がされます
(. . .)

②測定F値、EV値の小数項が表示されます
(. (0.1) - (0.9))

アップダウンスイッチの操作により設定タイムが表示されます

- 定常光
30m-1/8000s
mは分 sは秒
- ムービーコマ数(1/8000sのあとに8 16 18 24 32 64 128と表示されます)
- ストロボ光
1s-1/500s

3 モード選定と操作一覧



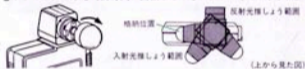
モード表示 スイッチ キー操作	ストロボ光		定常光	
	コードレス測定 F	コード接続測定・ C	スタン 表示なし	ムービー C
電源スイッチをON すると	b, c文字と電池容量(%)を表示し、その後測定モードが表示されます。			
モード切換スイッチ をスライドさせると	各モードが表示部に表示されます。			
150キーを押したま まアップ ダウン スイッチを押すと	1503-8000までのフィルム感度がセットできます。			
アップ ダウンス スイッチを押すと	16-1/500秒までのタイムがセットでき ます。		30分-1/8000秒ま でのタイムと8 16 18 24 32 64 128のムー ビーコマ数がセット できます。	
F/EVキーを押すと			F→EVの切換え ができます。	
測光スイッチを押 す と	Fマークが点滅して 測定準備がされます。 その後ストロボを発 光させると測光され ます。	コードで接続したス トロボが発光させ、 その時の明るさが測 光されます。	その時の明るさが明 るさの変化に追従し て測定されます。	

4 付属品と測定の方法

この露出計は、受光部アタッチメント交換方式です。測定目的に応じて各付属品を取りつけ、液晶表示部③の読み易い方向で測定してください。

受光部アタッチメントの取り付け方

- 1 受光部ヘッド②の凸部に光球①等アタッチメントの凸部を合わせてはめ込みます。
- 2 アタッチメントを時計方向に回転させるとクランクでセットされます。



入射光式測定

- この方法は被写体に当たる明るさを直接測る方法で、被写体のバックの影響を受けずに被写体に対して平均的な露出を求めるときに適しています。

1 光球①を用いて

ポートレート その他立体的な被写体を撮影するときに用います。

- スタジオ等で人工光(ストロボ、写真電球等)で撮影するときは、かならず被写体位置に露出計をおき 光球をカメラの光軸方向に向けて測定してください。

- 屋外で被写体に近づけない場合は、カメラ位置と視線状態が同じならば、カメラ位置で測定することができます。



2 白色平板^⑬を用いて

人工光で多灯ライティングするときの主光源、及び補助光源の明るさを測定して照明コントラストを調整するときや、照度 (P19参照) を測定するときに用います。

照明コントラストの測定の方法

1 被写体位置で白色平板を主光源に向けて測定し、そのときの明るさを読みとります。

2 次に被写体位置で白色平板を補助光源に向けて測定します。

(このときは主光源を消してください)

3 主光源と補助光源の測定値差よりコントラスト比を求めます。

● 通常光モードのときはEV値で測定すると便利です。

(例) 主光源 EV 12.5、補助光源でEV 10.5の場合

12.5 - 10.5 = 2 EV差 コントラスト比は約4 : 1となります。

● F値で測定の場合はドット表示部のドット数の差より求めると便利です。

(例) 主光源 F16、補助光源 F80の場合

●●●●●●●●●● 補助光源のとき
 ●●●●●●●●●● 主光源のとき
 1 1.4 2 2.8 4 5.6 8 11 16 22 32 45 64 90

← → 2倍の差のため、コントラスト比は4 : 1となります。

4 露出の決定は、主光源と補助光源を点灯し光球を使用して測定します。



測定値の差	コントラスト比
1	2 : 1
1 1/2	3 : 1
2	4 : 1
3	8 : 1
4	16 : 1
5	32 : 1

反射光式測定

この方法は被写体からの反射光 (輝度) を測定する方法です。入射光式では、測定困難な発光体や透過光の測定及び被写体輝度の相対比 (被写体コントラスト) を測るときに用います。

1 光角度板^⑭を用いて

● カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に光角度板を正しく向けて測定してください。

● カメラ位置で測定すると被写体全体の平均測定になります。

● 部分測定するときは、できるだけ被写体の主要部分に近づいて測定してください。

(露出計等の影が測定部分に入らないように注意してください)



2 ビューファインダー5° L-328VFを用いて 別売

● このビューファインダーをつけて測定すると、カメラ位置で被写体の主要部分をファインダーで確認しながら測定できます。

● 受光角は5°と狭いので、被写体のコントラスト等を測定するとき便利です。詳しくはビューファインダー5° L-328VFの説明書をご覧ください。



シンクロコード(ⒺCのときに用います)別売

●露出計とストロボを接続してストロボ光を測定するときに使用します。このシンクロコードは長さ5mで3つのプラグを持ち、露出計とストロボ、およびカメラと接続できるので差し替える必要はありません。また露出計側プラグはロック機構付となっています。



ストロボ カメラ

セコニックスタンダードリフレクター(標準反射板)別売

●反射光式の露出計で被写体の平均値を測定するのに便利です。
サイズ 69×117mm



準備

1 電池を入れます

電池は単四乾電池(LR-6又はR6)1.5V1本を使用します。

1 電池ふた①の凹凸部に指をかけ押しながら矢印の方向に引いてはずします。

2 電池の⊕を電池ケース内の表示に合わせて⊖側を先に入れ⊖側に指で押すようにして挿入します。

3 電池ふたを本体に合せ スライドさせて取り付けます。

4 電源スイッチ⑤を上側に押してONすると液晶表示部③にh.c文字と電池容量が表示され、そのあと測定モードに切り替ります。

【電池容量が少なくなるとドット表示が少なくなり、不足するとh.c文字の点滅、又は表示がされません。】

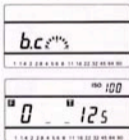
5 ONの状態では置きますとオートオフ機能が約4分後に自動的に液晶表示が消えます。

☆オートオフ後再度使用するとき 及び電源スイッチをON・OFF・ONと操作するときは、OFFで2秒ほどおいて次にONしてください。

☆充電式電池(KR-AA)は使用できません。

☆電池を入れるとき電池の接点の汚れをふいてください。

☆電池の取り外しは⊖側に指先をかけて⊖側に押すようにして取外してください。⊖側より外すと接点をいためることがあります。



- ☆電圧が低下した電池は、一時的にも表示がされても、異常な表示をすることがあります。このようなときは新しい電池と取りかえてください。
- ☆測光中、液晶表示部に表示された文字全部が点滅することがあります。このときは電池の容量不足ですので新しい電池と取りかえてください。

2 測定モードを決めます。

測定モードはストロボ光のコードレス測定、コード接続測定および定常光測定（F値、EV値）のモードがあります。測定モードに応じて切り換えてください。

モード	表示マーク	モード 切換スイッチ	液晶表示部
ストロボ光 コードレス測定			
ストロボ光(バルブ光) コード接続測定			
定常光・F値測定			
定常光・EV値測定			

- モード切換スイッチ⑦を各測定モードに合わせてセットします。
 - 測定モードが液晶表示部⑧に表示されます。
 - モード切換スイッチは電源ON、OFFに関係なく切り換えができます。
- 定常光測定モードで F 値、EV 値の測定モードがあります。
- F/EVキー⑨を押すと → モード表示が交互に切り換えてきます。
 - EV値測定モードで電源スイッチOFFまたは、オートオフ後再度ONのときおよびモード切換スイッチを切換えた場合は、全てF値測定モードになります。

3 フィルム感度(ISO)を合せます。

- 電源スイッチ⑤ONの状態ではISOキー⑩を押したままアップダウンスイッチ⑪の操作でフィルム感度を変更します。(ISO3-8000)

(例)右の下図は、上図よりISOキーを押したままアップダウンスイッチの▲側を6回押して変換した図です。

- ISOキーを押したままアップダウンスイッチの▲、または▼側を1秒以上押すと、押している間ISOの数値が連続変換されます。
- 設置されたISOの数値は、電源スイッチをOFFにしても電池が有効な間メモ

リセットされています。

- 設定されたISOの数値は、モード切り換えを行っても変更されません。

4 タイム(T)を合せます。

- 電源スイッチ⑤ONの状態でアップダウンスイッチ⑥の▲または▼側を押して設定したいタイム(シャッター速度)に合せます。

(例)右の中間は、上図よりアップダウンスイッチの▼(ダウン)側を2度押して変換した図です。

- アップ・ダウンスイッチの▲、または▼側を1秒以上押しと押ししている間タイムは連続変換されます。

- タイムはストロボ光測定モード(F)と定常光測定モードで各々別に設定できます。

- タイム設定できる数値
ストロボ光測定モード(F, Fc)
1-1/500秒

定常光測定モード 30分-1/8000秒

定常光ムービコマ数

1/8000秒のあとに8 16 18 24 32 64 128がセットされています。
(シャッター開角度180°の場合)

- 設定したタイムは、電源スイッチOFFでも電池が有効な間は各々メモリーされています。



測定

1 ストロボ光・コードレス測定

(シンクロコードを使用しないで測定する場合)

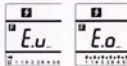
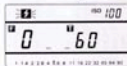
測定の方法

- 1 測定の準備にしたがって測定できる状態にセットします。(P10-P13)
- 2 測光スイッチ④を押すとFマークが点滅し、測光待機状態になります。
- 3 ストロボを発光させると自動的に測定し、そのときの明るさが、F値で表示されます。
- 4 再度、測定するときは、測光スイッチを押して測定値を0にしFマークの点滅をさせてください。
- 5 Fマークの点滅は、測光スイッチを押すと約90秒間持続されます。
Fマークが点滅していないと測定はできません。

- F(絞り)値表示範囲はF1.4-90までです。

- 測定値は、デジタル部F値表示とともにドット表示がされます。なおドット表示は、 $\frac{1}{2}\% \rightarrow 0.5\% \rightarrow 1\% \rightarrow 0 \rightarrow 1\%$ の様に表示します。

- 測定範囲を外れた場合は、E.u(アンダーエラー) E.o(オーバーエラー)が表示されます。



ISO変換による測定後の演算について

●測定後、ISOの変換により測定値の演算ができます。

(例)ISO 100→400

F値 $8.0z^{1/2}$ → $16z^{1/4}$
の様に演算されます。

●ストロボ光・コード接続モードでも同じように演算ができます。



☆測定後のタイム演算はできません。タイムを変換すると測定値は消え0になります。

☆タイムを設定するときは、使用するカメラの同調範囲内であることが必要です。

☆日中シンクロなど、コードレス測定モードでは周囲の明るさによって測光できない場合があります。このようなときは、コード接続測定モードにしてシンクロコードを接続して測定してください。

☆ラピット型蛍光灯や特殊な照明下では、ストロボを発光しないのに動作することがあります。このようなときは、コード接続測定モードにしてシンクロコードを接続して測定してください。

2 ストロボ光・シンクロコード接続測定

●手もとの操作でストロボを発光させて測定したいときや、コードレスではストロボを発光させても露出計が感じないときは、露出計とストロボをシンクロコードで接続して測定します。

測定の方法

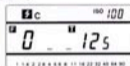
1 測定の準備にしたがってコード接続測定できる状態にセットします。

(P10～P13参照)

2 シンクロコードを露出計のシンクロターミナルに取りつけ、ストロボと接続します。

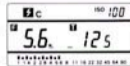
3 測光スイッチ④を押すとストロボが発光し、そのときの明るさがF値で表示されます。

4 再度測定するときは、そのまま測光スイッチを押してください。新しいF値が表示されます。



☆シンクロターミナルにシンクロコードを接続するとき、また電源スイッチをOFFからONにするとき、ストロボによっては発光する場合がありますのでご注意ください。

☆シンクロコードを使用して測定する場合、ストロボによっては発光しないことがあります。(極端にトリガ電圧を低くしているストロボなど) この場合は「コードレス測定」で測定してください。

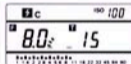
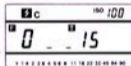


☆タイム設定するときは、使用するカメラの同期範囲内であることが必要です。
☆測定後のタイム演算はできません。タイム変換すると測定値は消え0になります。

フラッシュバルブの測定

M級およびFP級のフラッシュバルブの測定はコード接続モードで測定することができます。

- 1 測定準備にしたがってコード接続測定できる状態にセットします。(P10～P13参照)
- 2 シンクロコードを露出計のシンクロターミナル⑨にとりつけ フラッシュガンと接続します。
- 3 測光スイッチ④を押すとフラッシュバルブが発光し そのときの明るさがF値で表示されます。

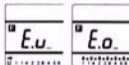
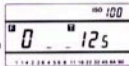


- ☆コードレス測定、および定常光モードでは測定できません。
☆タイムは $\frac{1}{60}$ 以下に設定してください。
(M級バルブは $\frac{1}{60}$ 、FP級は $\frac{1}{60}$ ～ $\frac{1}{500}$)
☆撮影するとき カメラのシンクロ接点はX接点にしてください。
☆シンクロターミナルにシンクロコードを取りつけたとき、フラッシュバルブが発光する場合がありますので シンクロコードを取りつけた後、フラッシュバルブをフラッシュガンに取りつけてください。

3 定常光の測定

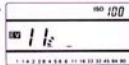
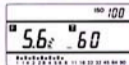
測定の方法

- 1 測定の準備にしたがって 測定できる状態にセットします。(P10～P13参照)
 - 2 測光スイッチ④を押すと、そのときの明るさがF値表示されます。
- 定常光モードでは、測光スイッチON状態では変動する明るさを連続測光していますので 測光スイッチを離した(OFF)ときのF値が表示ロックされます。
 - F(残り)値表示範囲はF1.0～F90までです。
 - 測定値は、デジタル部F値表示とともにドット表示がされます。なおドット表示は、 $\frac{1}{60}$ →0.5→ $\frac{1}{60}$ 、 $\frac{1}{60}$ →0→ $\frac{1}{60}$ の様に表示します。
 - 測定範囲をはずれた場合はF値表示部にE.u(アンダーエラー) E.o(オーバーエラー)の表示がされます。



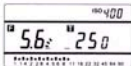
F→EVの切換について

- F/EVキー⑨を押すと 測定の前後に関係なくF値表示とEV値の表示が交互に変わります。
- 電源スイッチ⑤OFF又はオートオフ後、再度ONすると全てF値表示になります。
- EV値表示の場合はドット表示はされません。



測定後の演算

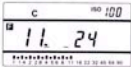
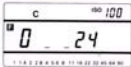
- 測定後、ISO(フィルム感度)を交換することにより測定値の演算ができます。
- 測定後、タイム交換することによりF値の演算ができます。



ムービーカメラの場合の測定

ムービーコマ数は、アップ・ダウンキー⑥の▲側を押すと、タイム1/60のあとにコマ数が表示されます。設定されているコマ数は、8、16、18、24、32、64、128です。(コマ数はシャッター開角度180°の値が表示されています。)

測光スイッチ④を押すと、そのときの明るさが表示されます。

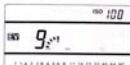


照度(ルクス)の測定

白色平板⑬を使用して簡易照度計として

概略の照度を測定することができます。

- 1 EV測定モードでISO100にセットします。
- 2 白色平板と測定面と平行にして測光スイッチ④を押します。
- 3 測光表示された値で簡易対比表よりお読みとってください。



測光	感度	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
1	1.7	3.4	6.8	14	27	54	108	216	435	870	
2	2.4	4.8	9.6	19	38	76	152	300	600	1200	
3	3.2	6.4	12.8	25.6	51.2	102.4	204.8	409.6	819.2	1638.4	
4	4.0	8.0	16.0	32.0	64.0	128.0	256.0	512.0	1024.0	2048.0	
5	5.0	10.0	20.0	40.0	80.0	160.0	320.0	640.0	1280.0	2560.0	
6	6.3	12.6	25.2	50.4	100.8	201.6	403.2	806.4	1612.8	3225.6	
7	8.0	16.0	32.0	64.0	128.0	256.0	512.0	1024.0	2048.0	4096.0	
8	10.0	20.0	40.0	80.0	160.0	320.0	640.0	1280.0	2560.0	5120.0	
9	12.5	25.0	50.0	100.0	200.0	400.0	800.0	1600.0	3200.0	6400.0	
10	16.0	32.0	64.0	128.0	256.0	512.0	1024.0	2048.0	4096.0	8192.0	
11	20.0	40.0	80.0	160.0	320.0	640.0	1280.0	2560.0	5120.0	10240.0	
12	25.0	50.0	100.0	200.0	400.0	800.0	1600.0	3200.0	6400.0	12800.0	
13	32.0	64.0	128.0	256.0	512.0	1024.0	2048.0	4096.0	8192.0	16384.0	
14	40.0	80.0	160.0	320.0	640.0	1280.0	2560.0	5120.0	10240.0	20480.0	
15	50.0	100.0	200.0	400.0	800.0	1600.0	3200.0	6400.0	12800.0	25600.0	
16	63.0	126.0	252.0	504.0	1008.0	2016.0	4032.0	8064.0	16128.0	32256.0	
17	80.0	160.0	320.0	640.0	1280.0	2560.0	5120.0	10240.0	20480.0	40960.0	
18	100.0	200.0	400.0	800.0	1600.0	3200.0	6400.0	12800.0	25600.0	51200.0	
19	125.0	250.0	500.0	1000.0	2000.0	4000.0	8000.0	16000.0	32000.0	64000.0	
20	160.0	320.0	640.0	1280.0	2560.0	5120.0	10240.0	20480.0	40960.0	81920.0	

計算で求める場合 照度(LX) = 3.4×2^{EV}
 (例) 図の値では $9.00 = EV9.5$
 照度(LX) = $3.4 \times 2^{9.5} = 3.4 \times 724 \approx 2460$ LXとなります。

6 取扱上の注意

お買い上げいただいたSEKONIC DIGI LITE FL-328は多くの電子部品で構成された精密電子機器ですので、下記の点にご注意ください。

- a 落下 または急激な衝撃は絶対にさけてください。
 - b 極度の高温、多湿な場所には保管しないでください。
 - c 光球、白色平板は傷がつかないように、また常に清潔に保つようにしてください。
 - d 余分な電池の消耗を避けるため、使用時以外は、できるだけ電源スイッチをOFFにしてください。
 - e この露出計の使用温度範囲は、0℃～+40℃です。
 - f 保管温度範囲は-20℃～+60℃です。
- 万一故障がございましたときには、最寄の営業所 またはサービス・センターにお持ちください。
- お近くに、営業所またはサービス・センターがなく郵送される場合には、厚さ3cm以上の衝撃よけパッキングに包んでから、段ボールなどで梱包してください。

7 アフターサービスについて

☆弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引受けする保証書が添付されておりますので、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受取りください。なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保管してください。

●無料保証期間などについて

①無料保証期間はお買上げ日より1ヵ年間でございます。

②保証書にお買上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。

③無料保証期間内でも有料修理となる場合もございますので、保証書の記載事項をお確かめください。

④保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸費はおお客様にご負担願います。

●補修用性能部品の保有期間などについて

①補修用性能部品は5年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお故障箇所によりましては期間が過ぎても修理可能な場合がありますのでサービスセンターにお問合せください。

②修理可能期間をご使用の状態や環境、お手持の状態などによって異なる場合がありますので、現品をご持参のうえお買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。

③修理可能期間内でも浸冠水、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題

が残ると思われるものにつきましては修理不可能となる場合があります。

●修理ご依頼時における留意事項

①修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。

ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要なと思われるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。

②修理をご依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、⊕の池、定格違いなどについて、よくお確かめください。

●転居の場合の手続きについて

①転居して販売店にご依頼しにくい場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

●お問合せ先について

本製品の保証、修理、使い方などのお問合せは、最寄りのサービスセンターをご利用ください。

8 仕様

測定方式●入射光式、反射光式兼用

●ストロボ光および定常光用デジタル露出計

測定範囲●ストロボ光=F1.4-90 $\frac{1}{25}$ (ISO100)

●定常光=EV(-)1-EV19 $\frac{1}{2}$ (ISO100)

くり返し精度● $\pm 0.1EV$

受光部●入射光……光球、白色平板

●反射光……光角度板(受光角54°)

ビューファインダー 5" L-328VF別売

●受光部回転式 270°

●受光素子…シリコンフォトダイオード

校正定数●C=340 K=12.5

液晶表示

測定モード表示●**F**……………ストロボ光、コードレス測定

●**Fc**……………ストロボ光、コード接続測定

●表示なし…定常光測定

C…定常光でムービーコマ数表示

EV…EVモード表示

日盛の表示●ISO……3-8000(3 $\frac{1}{2}$ SVステップ)

(各数値の表示)●TIME…ストロボ光 1- $\frac{1}{25}$ 秒(ITVステップ)

定常光 30分- $\frac{1}{25}$ 秒(ITVステップ)

ムービー日盛 8-16-18-24-32-64-128コマ

●F値……定常光 1.0-90+0.9AV(0.1AVステップ)

ドット表示 1-90まで0.5AVステップ

ストロボ光 1.4-90+0.9AV(0.1AVステップ)

ドット表示 1.4-90まで0.5AVステップ

●EV……-6-25.9(0.1EVステップ)

その他の表示●測定範囲外 E_a(アンダー) E_o(オーバー)

●バッテリーチェック h.c. $\frac{1}{2}$

使用電池●単電池乾電池(1.5V) (JIS LR-6、R-6) 1本

標準付属品●光球、白色平板、光角度板、ストラップ 電池

大きさ 高さ●121×64×23mm

約110g(電池含まず)

●この取扱説明書に記載の仕様および外観は改良のための予告なく変更することがあります。

逆光で入射光式測定をする時のご注意

正面光よりもバックライトが特に強い場合、被写体(特に人物の顔など)に当たっていない光に感じ易いので、この様な場合、手のひらで受光部ヘッドの背面を覆い、被写体と同じ様な光線状態で測定をしてください。

